

緑の風 NEWS

JR東労組



JR東労組ホームページ

East Japan Railway Workers' Union 2025年2月4日 No.80

劇団文化座公演

にんげんたち

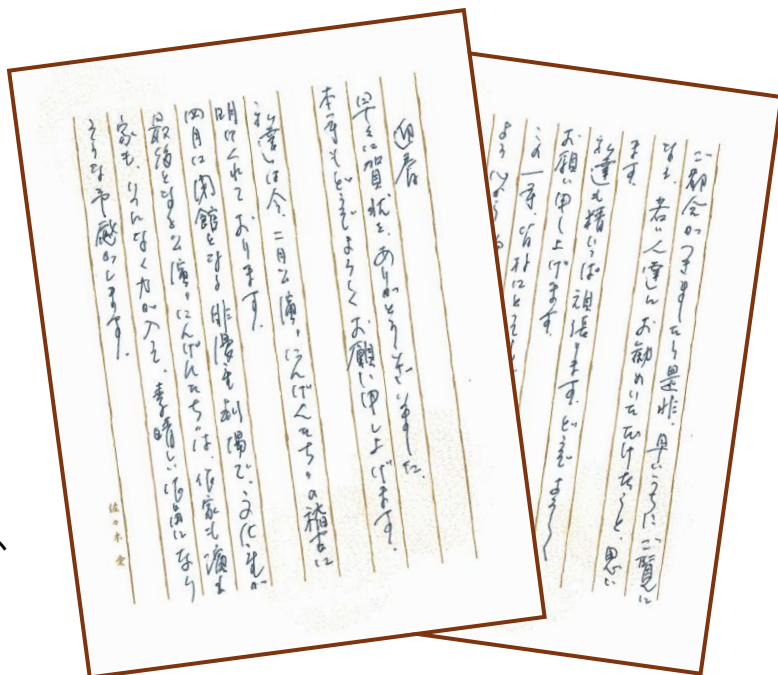
～労働運動社始末記

を観に行こう！



日ごろよりJR東労組に連帯し共に活動をつくり出していただいている劇団文化座の公演「にんげんたち～労働運動社始末記」が2025年2月21日～3月2日にかけて六本木・俳優座劇場で行われます。また、六本木の俳優座劇場は4月で閉館となり、文化座の皆さんも最後の俳優座劇場公演に向けて、日々稽古に励まれています。

公演に際し、文化座の代表である佐々木愛さんから「今作品は松崎さんを思い出すもので、労働運動の原点を感じられる作品であり、早く JR 東労組の皆さんに観ていただきたい」といったメッセージをいただきました！



「にんげんたち～労働運動社始末記」あらすじ

大正五年晩秋の葉山事件以来、同志たちの信頼を失って孤立した無政府主義者の大杉栄と伊藤野枝の二人のもとには、旧友である村木源次郎ただ一人が寄り添っていた。三人は仕事も金もないどん底暮らしをともに送るが、その生活はどこか呑気なものであった。

時代が大きく変転する中、和田久太郎、久板卯之助、近藤憲二ら癖のある新しい仲間たちが大杉の周りに集い始める。雑誌「労働運動」を発行し、ゲリラ的な演説活動を繰り返し、大杉は再び社会主義運動の中心人物へと返り咲いてゆく。

彼らの「労働運動社」はあくまで個々の自由意志による結社であり、ある者は主義を異にして離脱し、あるいはただ気分が乗らないという理由で離れ、また気まぐれに戻ってくるといったふうであった。

大正デモクラシーが叫ばれ、各地でのストライキ、労働争議などがいよいよ過熱してゆく大正十二年、関東大震災後の混乱に乗じて大杉と野枝が軍に虐殺されてしまう。

一年後、残された村木と和田は、その報復のため福田雅太郎陸軍大将襲撃を企てるのだが……。

安心して暮らせる平和な社会をつくるために

連帯する全ての仲間と共に奮闘しよう！